

山林（自然林）の解説

中国の大都市や北京の工場群の出す排気ガスは今や世界中の問題となっています。二酸化炭素は世界中でその排出権がお金で取引されています。110万坪の森から出す排出権は年間200万円くらいだそうです、また植林の事業を続けていくとすべてのかかった費用の、90%が日本政府や北海道庁、地元自治体などから現金での助成が法律で決まっています

土地を売ることなく、そのまま持っているだけで10年で2千万円となります。その他、中国の企業が北海道に環境対策と自然保護の為に110万坪の山林を所持していることは多くの取引先や株主や中国政府高官にはとてもよい印象を与えることにもなります。

現在の山林価格1坪200円は余りにも安い価格なので、今後の値上がりは必ずあると思います。2倍、3倍と価格が上がっていくことは、楽しみなことです、実際平成2年頃には1坪600円から800円はしていました、山林の転用の場合は許可をとって、大規模な肉牛の生産、畑や農作物の生産、牧場経営、地下水を利用した水資源のペットボトルの製造工場、海に近いので色々な魚の加工場なども作ってその製品を中国へ輸出することも可能です。

さらに転用例として、近い将来ビザ自由化などで大勢のロシア人の観光客がサハリンを経由して稚内港に上陸すると考えられます、その時には大きなホテルやテーマパークも建設できます

山林の現場は町から近くほぼ平坦な丘陵地は太陽光や風力発電の発電基地にもなります。北海道電力と日本政府では現在大容量の電気が送れるよう太い送電線を北海道全地区に工事を展開しています。稚内地区にはこの先、2年か3年で工事が完成するとのこと、そのあとは電気をたくさん売ることができます、日本は原子力を辞めて太陽光や風力の電気を将来は使うことになるでしょう

買った後の、山林の税金は1年で約10万円だけです。後は何の管理も費用も掛かりません、前にも書いたように今のまま山林として植林などの作業をした場合にはかかった費用の90%が日本政府から助成金が出ます。

是非この広い山林を買って大地主の気分と将来の値上がりの楽しい夢を味わってください。

